



使い方

①電源を入れる。
AEDの蓋を開けると自動で電源が入るタイプもある。

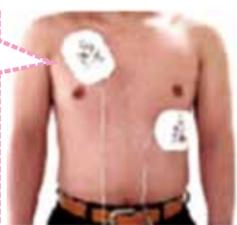
まずは、電源をON。
その後は、音声案内に従おう。



あとは、音声案内に従って・・・

②パッド装着
「パッドを患者の胸に装着してください」
心臓を挟むように、しっかり密着させる。

注意点
1. 水はふき取る
2. 貼り薬は取り除く
3. 埋め込み型医療器具（ペースメーカーなど）は避ける



③コネクタ接続
「ランプが点滅しているところにコネクタを接続してください」

最初から接続されているタイプもある



④心電図解析
「心電図を解析中です。身体から離れてください」

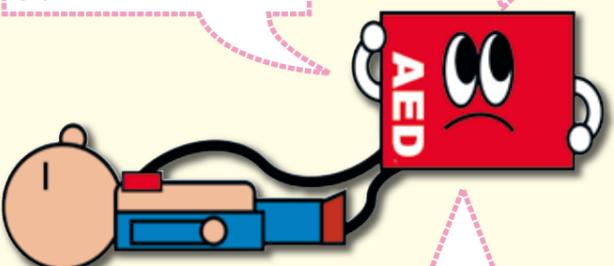
⑤電気ショックの実施
「ショックが必要です。患者から離れてショックボタンを押してください」
解析の誤作動防止、感電を防ぐため、誰も患者に触っていないことを確認しよう。

⑥ショック実施後
「直ちに胸骨圧迫を開始してください」
の指示があれば、胸骨圧迫（心臓マッサージ）を行う。
「電気ショックは必要ありません」
傷病者が呼吸をし始める、身体を動かすなどが見られる場合はショックの必要はない。ただし、救急隊が到着するまでパッドは貼ったままにしておくこと。



ショックが必要な場合でもパッドはずっと貼ったまま！2分毎に解析するよ。

AEDから離れるよう指示があるまでは心臓マッサージを続けてね！



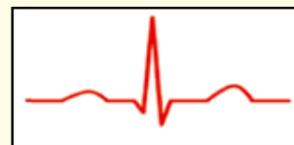
さらに詳しいAEDの使い方、心肺蘇生法（心臓マッサージ）などについては毎月講習会を行っています。是非、受講してね！

上級救急講習のお知らせ

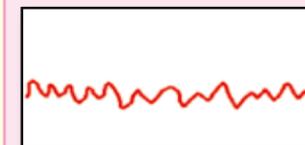
日時：9月21日（土）
午前9時～午後6時
定員：30人
（市内在住・在勤優先）
受付期間：9月2日（月）～20日（金）
午前9時～午後5時
（土日を除く）

問い合わせ
消防本部総務課救急救助係
☎875-0105

誤って電気ショックを与えることはありません。
AEDが心電図（心臓の電氣的な動きの様子をグラフにしたもの）を読み取って必要な場合にのみ電気ショックを与えます。ただし、心電図解析時に患者に触って動かしたりすると、誤作動で電気ショックが必要だと判断してしまう場合もあります。
下の図は心電図です。

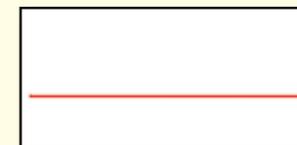


（健康な人の心臓の動き）



（痙攣している心臓の動き）

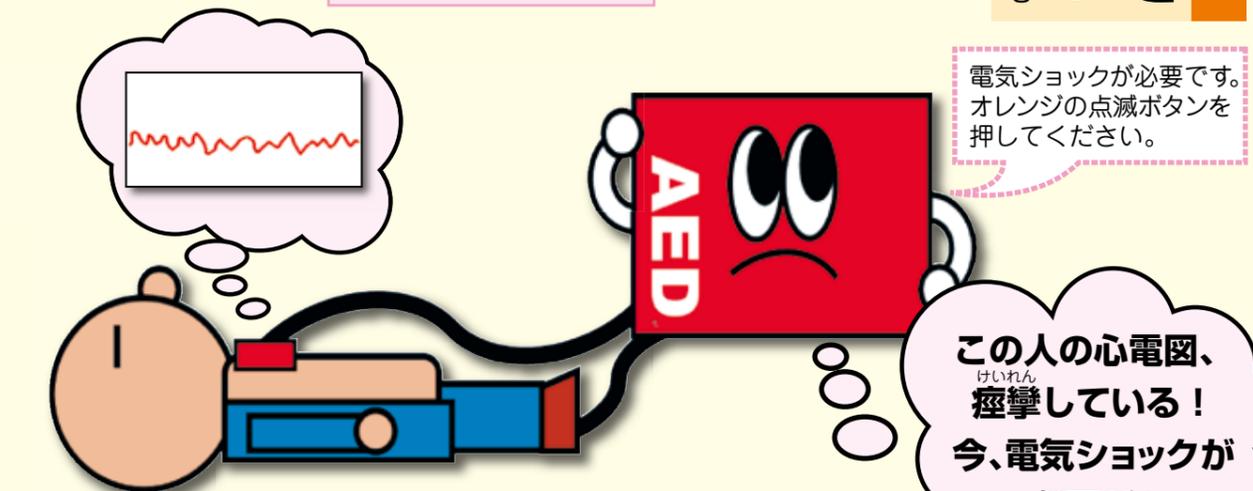
AEDが必要



（完全に止まった心臓）

誤って健康な人に電気ショックを与えることは無いの？
「取り除く」働きをするのが除細動器です。
文字どおり、心臓の「細かい動き」を「取り除く」働きをするのが除細動器です。
心室細動とは心臓が痙攣し、ポンプ機能を果さない状態のことになります。

AEDは突然の心停止の際に出現する心室細動時に電気ショックを与え、心臓を正常な動きに戻すことを試みる医療機器です。
文字どおり、心臓の「細かい動き」を「取り除く」働きをするのが除細動器です。
心室細動とは心臓が痙攣し、ポンプ機能を果さない状態のことになります。



電気ショックが必要です。オレンジの点滅ボタンを押してください。

注意：心臓の痙攣と、体の痙攣は全く別のものです。心室細動の場合は、体は全く動かない状態です。

インターネットで全国AEDマップを検索してみよう！

浦添市内には、どこにAEDが設置されているの？
市内全ての小中高등학교・市役所・市立図書館などの公共施設、その他、スポーツクラブや、デパート、病院、クリニック、パチンコ店などに設置しています。
AEDの使用によって救える命があることを念頭に置き、日頃からAEDの設置場所に気を配ることも大切なことです。
ご近所ごときのために素早く行動できるよう、AEDの使用方法を確認しておきましょう。